

外活動



江・名池両小学校に呼びかけ参加者を募りました。児童生徒31名に、保護地域の世話を人を加えた60名と両校の校先生もご参加。

喜戸桟橋より巣流島へ渡り、飯盒炊飯と外活動を行いました。

食事は恒例のカレーライスにバーベューを追加、食後にはゲームやレクリエーションを行いました。子供達は食材調・火起こし・ゲー

こ大喜びでした。

事故も無く無事野外活動を終えことができ十分成果を挙げる事ができました。



自治会長有志に会し、敬老会議に『笑らいヨ

笑いがストレ
新鮮な空気を
そうです。
く大きな声が



のバスハイク、地域のコミュニケーションと共に、次代を担う子どもたちへの三世代交流教育的効果を目指しています。は子供さんの出席も多く博物館や消防防災V局・北九州エコタウン等研修施設をコース入れていましたが、昨今はNHK大河ドラマに沿って地域固有の歴史を巡っています。度は維新150年をテーマに長州ファイブの藤公資料館を訪問しました。生家も含めきめ整備されており、紅葉も進み深まる秋を感じ風情溢れる施設でした。

橋周辺では催し物で賑わっており、岩国藩鉄発砲イベント等も披露されました。その後錦《ことこトトレイン》に乗車、トンネル内の展示狩り等、秋の一日を楽しみました。

園遊戯室に集まり、徳本先生を中心に主児童委員・支援ボランティアの皆様の指を得て順調に成果を挙げています。

下関在住の留学生や教職の皆様の参加もり、バラエティーに富んだカリキュラム自慢です。別途夏休みには「学習会」「絵画室」等を開催、7月23日①には「夏祭り」。

場所を生涯学習プラザに移動しての「工作教室」にも取り組みました。子供達は笑顔いっぱいで学習や諸活動に取り組んでいます。是非一度お立ち寄りください。



11/12・13
(土)(日)

貴船地区

ふれあい農園さつま芋掘り

場所／貴船町中東地区ふれあい農園

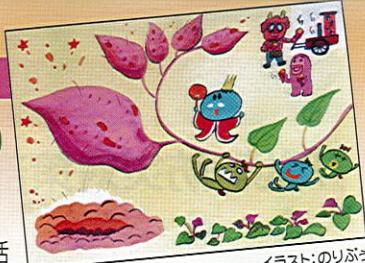


イラスト:のりぶ

昨年7月に植え付けたさつま芋の収穫期に貴船地区の子どもから大人まで45名が芋掘りをしました。

皆さん慣れない作業に悪戦苦闘、歓声をあげながらも大小さまざまなさつま芋を掘り上げました。参加者全員で焼き芋を美味しくいただきました。作業が終わったら

も楽しく話
に花が咲いて地域の親睦を
さらに深めた一日になりました。

次回は「ふれあい農園・大根収穫フェア」を予定していますので貴船地区に限らず多くのご参加をお待ちしております。一緒にしませんか？

第七回下関市景観賞を受賞して

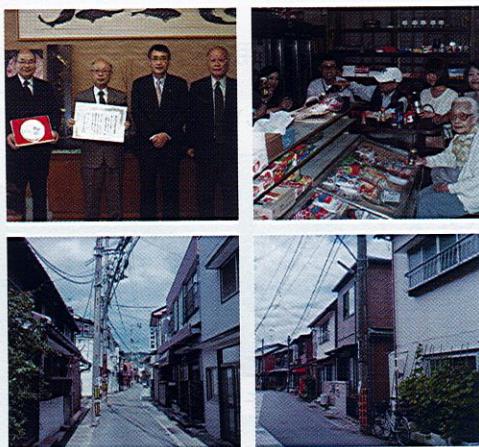
貴船町自治連合会 会長 山縣 邦光



貴船町の「赤岸通り」
が平成28年度の風景・まちなみ部門で、下関市の美しいまちづくりに努め、良好な景観の形成に寄与したとして、昨年11月1日に市長室で表彰状を頂きました。

貴船町には、明治20年代に裁判所・要塞砲兵大隊が置かれています。以降昭和30年代までは、下関市の中心市街地として繁栄、当時の様子が今回受賞した「赤岸通り」には点在しています。これは、地元の皆様が代々大切に守っていこうとする「まちづくりへの考え方」があったからだと思います。

今回の受賞をきっかけに、これから貴船町のまちづくりに活かしていきたいです。



第21回貴船町自治連合会大運動会
貴船町二丁目豊町自治会 会長 内山 和章

11/3
祝

平成28年11月3日
祝日、貴船町自治連合会
主催の大運動会が、第一
幼稚園の運動場をお借
りして開催されました。

当日は、少し肌寒い感じでしたが、
絶好の運動会日和でした。貴船11自治会の、子どもから大人まで約280名
の参加者が青空の下、早朝から午後3時過ぎまで、多くの競技に参加して大
いに盛り上りました。

この運動会は、当地区に大平学園があ
った当時から毎年秋の恒例行事とな
っています。

幼児から大人まで11自治会が紅白
に分かれて、一生懸命に競技を楽しみ
頑張る姿はみんな一緒です。中でも幼
児を対象とする競技では、おじいちゃん
、おばあちゃん達が参加して、泣き
出しそうな孫の顔と困った様子を見
ながらゴールまで頑張る姿はとても
印象的でした。大人のリレー競技では、普段身体をあまり動かさないせい
か、特にコーナーでの走りではバランスを大きく崩す人が続出し「速く走り

たい気持ちと年齢からくる身体のバ
ランス」のちょっとしたズレを感じま
した。

最終競技は赤白対抗「綱引き競技」
が行われ、全員が最後の力をふり絞つ
た激しい戦いとなりました。結果は白
組の勝ち、さらに大運動会の総合優勝
も白組となりました。

このような地域の運動会は、今では
少なくなっていると聞きますが、私た
ちの運動会はすべてが手作りで、11
自治会から参加された実行委員会の
皆さんを中心に関営されています。

運動会を通して、健康の維持増進は
もちろんのこと、競技に参加して親子
の絆を深め、同時に子どもの意外性が
発見できる機会もあります。参加者
同士のあたたかいふれあいにより、自
治連合会の明日への飛躍を大いに
感じた運動会でありま
した。

